

大阪市ジョブアタック事業(大阪市若者就職支援事業)

「職場チャレンジ学習コース(第1・2期分)」開始

各種資格・国家試験の総合スクール東京リーガルマインド(LEC)は、このたび、大阪市が緊急雇用対策の追加事業として行う『大阪市ジョブアタック事業(大阪市若者就職支援事業)』を受託し、その事業のひとつである「職場チャレンジ学習コース(第1・2期分)」事業を6月1日より開始しました。7月2日より第1期44名、8月1日より第2期44名、計88名の研修生を受け入れる予定です。

* 大阪市若者就職支援事業(大阪市ジョブアタック事業)とは? *

未就業の39歳以下の若者を人材派遣会社において新規雇用し、「紹介予定派遣制度」(*)により、市内中小企業に派遣し、働きながら必要な知識と技能を習得させて常用雇用につなげるとともに、市内中小企業の魅力を発信し、若者とのマッチングを図ることを目的とするもので、雇用期間は原則2ヶ月以上6ヶ月以内。生活保護受給者等のための優先枠も設けている。

(*)紹介予定派遣: あらかじめ常用雇用(正社員や契約社員)することを前提に求職者を派遣し、派遣期間(最長6ヶ月)終了後に、本人と派遣先の双方が合意すれば、派遣先企業の正社員等になれるという制度。派遣期間中に実際の仕事を通して本人の希望や意欲、業務内容などを見定めることができる。

■ 事業概要

事業名	大阪市ジョブアタック事業(大阪市若者就職支援事業)【職場チャレンジ学習コース 第1・2期分】
期間	2012年6月1日から2012年11月30日まで
対象者	未就業の若者(平成24年4月1日現在で39歳以下)で就労体験が浅いなどの理由により、就職につながらない生活保護受給者等の就職困難者
目的	基礎的な職業教育、職業訓練などをメニューとした短期の体験学習を実施し、常用雇用にむけて「仕事を続ける生活スタイルの確立」や「モチベーションを維持する」ことを目的とする。
新規雇用予定	200人(うち生活保護受給者枠180人)

◆ LECのノウハウで就職困難者の自立をバックアップ

LECでは創業30年以來の国家資格・各種検定の受験指導のほか、失業・雇用支援におけるジョブカフェ・職業訓練・委託訓練・職業紹介事業・求職活動支援等の取り組みで培ったノウハウを活かし、大阪市の若年者のキャリア形成を支援し、大阪市経済の発展に貢献する人材を育成してまいります。平成23年度大阪市ジョブアタック事業「職場チャレンジ学習コース」においては、計56名を受け入れ、うち16名が就職内定決定に繋がりました。今後も社会が必要とする生産性の高い人材育成にあたってまいります。

■ コース概要

コース名	職場チャレンジ学習コース(第1・2期分)
研修期間	第1期:2012年7月1日~2012年9月30日 第2期:2012年8月1日~2012年10月31日
対象者	39歳以下の未就職者
研修目標	『就労意欲喚起』と『仕事を続ける生活スタイル』の確立
内容	約1ヶ月のOFF-JT期間では民間教育機関として培った「就職支援教育」のノウハウを活かし、個別育成プログラムとグループワークを組み合わせた研修で、自主性とチーム力の醸成を図ります。また、約2ヶ月のOJT+OFF-JT期間では、弊社の大阪市被保護者就業体験事業で受入実績のある企業を軸に、各種機関、団体とも連携して、被保護者の受入に理解ある就業体験先企業で実習を行うとともに、就業体験先で指摘され問題となった点や本人の今後の志望先に応じて適宜追加研修を行いフォローアップをします。
特徴	被保護者の受入に理解ある多様な受入企業ネットワーク 現在、派遣受入見込企業200社、受入枠総数352人枠の見込に加え、受託後は企業開拓を継続し、88人枠以上を目指す。 パーソナルサポーターによる少人数担任制を実施 新規雇用者を、44名×2期制、計88名を新規採用し、パーソナルサポーターによって、就業体験期間中も定期的にOFF-JTを実施。就業体験中の脱落を防ぐ。 一人ひとりに合った個別育成プログラム 個人の特性を十分に考慮し、個別対応で育成していくプログラムを採用。
雇用予定人数	44名×2期制、計88名